

(1) 宮崎県介護現場革新会議の設置について

(2) 介護現場革新会議における生産性向上の取組について

(3) 介護生産性向上総合相談センターについて

<事務局より説明> 資料1～4、参考資料

委員： センターの取り組みの有識者派遣について、有識者とは具体的にどのようなイメージか教えてほしい。

事務局： 例えば、中小企業診断士や民間のコンサル事業者、その他介護現場に精通している方を想定している。

委員： 施設のタイプごとに抱えている課題が違うと感じている。  
導入する機器が同じであっても、施設の種類によってその使い方は異なる。  
先日、同規模の施設を視察し、課題も一緒であり、施設の広さも一緒であったため、大変勉強になったと感じた。  
こういった、現場の職員の方々が有識者でもいいのではないかと。

今回の検討事項の中に、その他地域における介護現場の課題への対応に関することとあるが、現時点で具体的なイメージはあるか。

事務局： 現段階では、具体的なイメージはないが、今後、ご意見をお伺いしながら、検討を進めていきたいと考えている。

委員： やはり、中山間地域の課題に取り組みないと、限界集落等では人材不足で若者や高齢者も減少している。5年後10年後には非常に疲弊していると思う。  
自助努力に加え、行政の力を借りれば、何とか継続できるのではないかと思う。  
このため、現場の方の話を聞く場を、ぜひ設けて欲しいと感じている。

座長： 中山間の課題については、昨年度、訪問看護でも人口の少ない地域では厳しい状況にあるとの話があり、担当者で各町村に出向いて話を伺った。特養を含めたその他の施設では、市町村や事業者と意見交換をしながら、しっかり対応していく必要があると感じた。

また、課題がそれぞれの事業所で異なるという点については、各事業所の課題が

どこにあるのかというところから、一緒に伴走型の支援を実施していきたいと考えている。

委員： 今回の運営方針の成果指標について、有識者の派遣の成果指標が実施件数となっており、正直あまり評価ができないだろうと感じた。

しかも初年度になると、支援を行う施設の数もおそらく限られてくると思うため、定性的なものでも定量的なものでもいいが、具体的に書いた方がいいのではないかと。例えば、特定の勤務時間帯の記録の時間の減少が確認できたとか、入浴介助の時間が短縮できたとか、そういったものを織り込んでどうか。

研修会についても同様で、参加者数を評価指標にするのではなく、その中で具体的にどういった成果物が出てきたのかを挙げた方が、本当に自分から参加して問題を解決するというようなところに繋がるのではないかと感じた。

座長： どういった効果があるのかについてしっかりと意識しながら、取り組んでいき、また、成果指標については、いただいた御意見を踏まえて検討はして参りたい。

委員： 課題や地域、希望、形態等がそれぞれ違っている中で、どのようにマッチングしていくのかというところは非常に難しい問題だろうなと思ったところ。

生産性向上総合相談センターが担う事業の範囲がすごく幅が広くて、総合相談や機器の取り扱いに関する事、研修会の実施について、実施事業者の公募・選定後も任せっ切りではなく、バックアップ体制等を含めて検討していく必要があると感じた。

ICT、ロボットも非常に多様化している。すぐには難しいと思うが、一覧表的なもので、項目を選んでいけば、どういった機器があるのか分かるようなものがあれば、ある程度イメージしやすいのではないかと。施設側の課題と、その解決策としての機器の活用のマッチングの指標になり得るのではないかと。

ICT、ロボット機器を導入するときに、プライバシーの保護との両立をどのように図っていくのかという視点が大事だと思う。人としての人生の生き方との兼ね合いの中で、プライバシーの保護をどのように図っていくのかということはある程度考えつつ、それに対する指標なりを考えていかないといけない。

座長： 資料4に記載のとおり、各関係機関と連携して、適切な支援を届けていくことが大事だと思う。いただいた意見を参考にしながら、事業の実施に生かしていければと思う。

委員： 現在、展示室が今休館となっているが、今後、再開されると聞いている。

今後、相談センターができた時に、業界団体として、どういう相談の流れになるのかについて、関心がある。団体として、どのような関わりを持つべきかが1つのテーマだと思っている。

事務局： 展示場が再開した際は、どのような機器が課題解決に適しているのか、もしくはどこで機器を購入できるのかといった質問を受けることが想定されているため、複数の事業者が加入する福祉用具供給協会をご案内すること等を想定しているところ。特定の事業者ではなくてあくまで公共性、公平性を担保した上での取り扱いにする必要があると考えている。

#### (4) 介護生産性向上総合相談センターについて

<事務局より説明> 資料5